

月例経済報告（2020年3月）

● 月例経済報告（3/26）

<p>基調判断</p>	<p>(3月) 景気は、<u>新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にある。</u> <u>感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれる。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u></p> <p>(2月) 景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。 当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されるが、新型コロナウイルス感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、通商問題を巡る動向等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響にも留意する必要がある。</p>
<p>個人消費</p>	<p>(3月) <u>感染症の影響により、このところ弱い動きとなっている。</u></p> <p>(2月) 持ち直している。</p> <div data-bbox="686 481 1348 862"> </div>
<p>設備投資</p>	<p>(3月) <u>機械投資は、おおむね横ばいとなっている。</u></p> <p>(2月) 機械投資は、緩やかな増加傾向にあるものの、一部に弱さがみられる。</p> <div data-bbox="686 884 1348 1265"> </div>
<p>住宅建設</p>	<p>(3月) 弱含んでいる。</p> <p>(2月) 弱含んでいる。</p> <div data-bbox="686 1288 1348 1668"> </div>
<p>雇用情勢</p>	<p>(3月) <u>改善してきたが、感染症の影響がみられる。</u></p> <p>(2月) 改善している。</p> <div data-bbox="686 1691 1348 2072"> </div>

<p>生産</p>	<p>(3月) 引き続き弱含んでいる。</p>																
	<p>(2月) 引き続き弱含んでいる。</p>																
<p>輸出</p>	<p>(3月) 弱含んでいる。</p>	<table border="1" data-bbox="1220 638 1316 862"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>2月</th> <th>3MA</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EU</td> <td>+4.1%</td> <td>+0.3%</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>+4.1%</td> <td>+2.4%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>+4.7%</td> <td>▲1.0%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>+3.8%</td> <td>+0.5%</td> </tr> </tbody> </table>	地域	2月	3MA	EU	+4.1%	+0.3%	アメリカ	+4.1%	+2.4%	アジア	+4.7%	▲1.0%	全体	+3.8%	+0.5%
地域	2月	3MA															
EU	+4.1%	+0.3%															
アメリカ	+4.1%	+2.4%															
アジア	+4.7%	▲1.0%															
全体	+3.8%	+0.5%															
	<p>(2月) 弱含んでいる。</p>																
<p>国内企業物価</p>	<p>(3月) このところ<u>緩やかに下落している。</u></p>																
	<p>(2月) このところ横ばいとなっている。</p>																
<p>消費者物価</p>	<p>(3月) このところ<u>横ばいとなっている。</u></p>																
	<p>(2月) このところ上昇テンポが鈍化している。</p>																
<p>海外経済</p>	<p>(3月) <u>世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、経済活動が抑制されており、足下で急速に減速している。</u>先行きについては、<u>当面、感染症の影響が続くと見込まれ、景気がさらに下振れするリスクがある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</u></p> <p>(2月) 世界の景気は、全体としては緩やかに回復しているが、そのテンポは鈍化している。先行きについては、当面は回復の鈍さが残るものの、全体としては緩やかに回復していくことが期待される。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響によって景気が下振れするリスクがある。また、通商問題を巡る動向、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。</p>																